

10:00~10:10 開会式

10:10~11:00 モーニングセミナー1

座長：福永 興吉（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

MS1 Activation and Plasticity of ILC2 Maintains Persistent Inflammation in Chronic Airway Diseases

Roma Sehmi（Department of Medicine, McMaster University, CANADA）

共催：サノフィ株式会社

11:05~11:50 一般演題1 基礎1

座長：森田 英明（国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部）

大野 勲（東北医科薬科大学）

1-1 アトピー性皮膚炎におけるかゆみ過敏に対する好酸球の役割の解明

外山 扇雅（順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所）

1-2 洗濯用洗剤は抗原の経気道感作を促進し、抗原特異的好酸球性気道炎症を誘導する

長野 直子（国立成育医療研究センター研究所免疫アレルギー・感染研究部）

1-3 TNFSF14（LIGHT）による喘息の気道過敏性およびリモデリングの促進機序の解明

三木 春香（筑波大学医学医療系膠原病リウマチアレルギー内科学）

1-4 IgE- and mast cell-dependent allergic responses are regulated by sphingolipid binding to CD300 member molecules

貝谷 綾子（順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター）

1-5 CDK4/6は重症喘息モデルマウスにおける2型自然リンパ球関連肺線維化を促進する

松田 将也（摂南大学薬学部薬効薬理学研究室）

11:50~12:35 一般演題2 基礎2

座長：藤澤 隆夫（国立病院機構三重病院）

權 寧博（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野）

2-1 低pHによる刺激は好酸球性腹膜炎に関与する一方で、好酸球の接着と活性酸素放出を抑制する

渥美 孝郎（埼玉医科大学病院）

2-2 ニコチンの好酸球エフェクター機能におよぼす影響の検討

片山 和紀（埼玉医科大学呼吸器内科）

2-3 共通β鎖サイトカイン（IL-3/IL-5/GM-CSF）による好酸球制御に関する検討

溝部 政仁（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

2-4 アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎における好酸球細胞外トラップの関与

安部 友恵（秋田大学大学院総合診療・検査診断学）

2-5 非喘息性好酸球性気管支炎とアレルギー性喘息の患者の喀痰における2型自然リンパ球の解析

松山 崇弘（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学）

13:30~14:20 ランチタイムセミナー1

座長：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科、埼玉医科大学病院アレルギーセンター）

LS1 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)における好酸球性炎症の重要性と最新の治療

上出 庸介（国立病院機構相模原病院臨床研究センター薬剤過敏症研究室）

共催：アストラゼネカ株式会社

《昼食休憩》（昼食会場）

14:25~15:28 一般演題3 臨床1

座長：神沼 修（広島大学原爆放射線医科学研究所）

仙 知行（埼玉医科大学呼吸器内科、アレルギーセンター）

3-1 幼児・高齢者を対象とする喘息治療管理料2算定の地域域差と経年変化：NDBオープンデータ2018-2023年解析

桑原 優（国立病院機構三重病院臨床研究部）

3-2 肺機能検査を用いた機械学習による小児喘息の診断学的アプローチ

有馬 智之（国立病院機構三重病院小児科）

3-3 Effect of age on differences in airway hyperresponsiveness between T2-high and T2-low asthma

今岡 通厳（一般社団法人創精会松山記念病院内科）

3-4 T2-low喘息の多様性と増悪因子の検討

井本 早穂子（帝京大学医学部呼吸器・アレルギー学）

3-5 重症喘息におけるデュピルマブ導入後の早期応答プロファイルの同定：呼吸機能指標を用いたクラスター解析

水村 賢司（日本大学医学部呼吸器内科）

3-6 臨床的寛解を満たした軽症喘息患者における治療中止後の経過と指標

神後 宏一（順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

3-7 生物学的製剤使用中の喘息患者における臨床的寛解とQoLの関係

竹下 裕理（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）

15:28～16:10 一般演題4 臨床2

座長：中込 一之（埼玉医科大学呼吸器内科・アレルギーセンター）

久田 剛志（群馬大学大学院保健学研究科）

4-1 当院での重症喘息におけるテゼベルマブの有用性の検討

亀井 淳哉（浜松ろうさい病院）

4-2 Tezepelumabの治療反応性を規定する遺伝的因子について

豊島 かおる（東北医科薬科大学医学部医学教育推進センター）

4-3 喘息診療実践ガイドラインの臨床的寛解患者における末梢血好酸球数増加の要因

渡邊 直人（聖隷横浜病院アレルギー内科）

4-4 重症喘息と誤認されていたLarge Airway collapseの6症例

中村 祐人（国立病院機構相模原病院呼吸器・アレルギー科）

4-5 アスピリン/ボノプラザンフマル酸内服開始により感作を生じ、小麦依存性運動誘発アナフィラキシーをきたしたと考えられた1例

石原 眞悟（伊勢崎市民病院）

4-6 5類対応以降の喘息増悪入院例におけるウイルス検出状況：COPDや間質性肺疾患との比較

梶谷 真紀（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）

16:20～17:00 イブニングセミナー1

座長：長瀬 洋之（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）

ES1 Discovery of Biomarkers based on Multi-Omics analysis in Asthma

Tae-bum Kim (Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine, Seoul, Korea)

17:05～17:50 一般演題5 臨床3

座長：原田 紀宏（順天堂大学医学部内科学教室呼吸器内科学講座）

山田 佳之（東海大学医学部総合診療学系小児科学）

5-1 喘息を併存し鼻ポリープを有する重症慢性副鼻腔炎患者のデュピルマブの上気道と下気道への影響

星野 誠（国際医療福祉大学熱海病院アレルギー内科）

5-2 便スミア検体を用いた新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症（non-IgE-GIFAs）の好酸球関連バイオマーカー探索

犬飼 香織（東海大学医学部総合診療学系小児科学）

5-3 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)における生理活性タンパクの網羅解析

上出 庸介（独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センター）

5-4 呼吸器検体の真菌培養におけるスエヒロタケ簡易同定のための実用的プロトコール：単一施設におけるパイロット研究

福富 友馬（国立病院機構相模原病院臨床研究センター）

5-5 難治性アトピー咳嗽に対するP2X3拮抗薬ゲファピキサントの有効性

石浦 嘉久（関西医科大学内科学第一講座）

18:00～18:50 イブニングセミナー2

座長：浅野浩一郎（東海大学医学部内科学系呼吸器内科学）

ES2 Anti-TSLP in severe asthma: from asthma control towards clinical remission.

Guy Brusselle (Ghent University Hospital Department of Respiratory Medicine)

共催：アストラゼネカ株式会社

19:00～21:00 懇親会・YIA発表（ファカルティクラブ）

9:00~9:50 **モーニングセミナー2**

座長：金廣 有彦（姫路聖マリア病院アレルギー疾患総合診療部門）

MS2 Aspirin-Exacerbated Respiratory Disease (AERD): From Clinical Puzzle to Mechanistic Clarity

Tanya M. Laidlaw (Division of Allergy and Clinical Immunology Brigham and Women's Hospital, USA)

9:50~10:50 **指定演題1**

座長：新実 彰男（大阪府済生会茨木病院呼吸器内科）

多賀谷悦子（東京女子医科大学内科学講座呼吸器内科学分野）

DT1-1 難治性アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の臨床的特徴とその予測スコア

田中 淳（東海大学医学部内科学系呼吸器内科学）

DT1-2 重症好酸球性喘息におけるメボリズムマップに対する治療反応の経過と寛解率の違い

濱田 祐斗（ニューカッスル大学医学・健康福祉学部トリートメント卓越センター）

DT1-3 多層オミクス解析によるIL-4誘導性のシステイニルロイコトリエン産生を特徴とするIL1RL1高発現好酸球の同定

砂田啓英也（東京都済生会中央病院呼吸器内科）

DT1-4 喘息に併存する機能性ディスペプシアはIL-33を介した気道神経機能不全と関連する

伊藤 圭馬（名古屋市立大学呼吸器・免疫アレルギー内科学）

11:05~11:55 **ランチタイムセミナー2**

座長：谷口 正実（国立病院機構相模原病院臨床研究センター）

LS2 Pathogenesis and Therapeutic Strategies of EGPA — Eosinophilic Inflammation and Beyond —

宮田 純（慶應義塾大学病院呼吸器内科）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

《昼食休憩》（昼食会場）

13:15~14:00 **指定演題2**

座長：中島 裕史（千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学）

加畑 宏樹（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

DT2-1 慢性鼻副鼻腔炎におけるB細胞免疫レパトア解析：微生物感染と自己免疫の関連

朝守 智明（東京科学大学頭頸部外科）

DT2-2 血清由来エクソソームの最新プロテオミクスによる 喘息の新規バイオマーカー開発

吉村 華子（公立学校共済組合近畿中央病院呼吸器内科）

DT2-3 炎症細胞が慢性副鼻腔炎粘液の性状を規定する

宮部 結（秋田大学医学部医学系研究科総合診療・検査診断学講座）

14:05~14:55 **アフタヌーンセミナー**

座長：井上 博雅（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学）

ES3 Targeting Severe Asthma: Pathogenesis and the Role of Mepolizumab

Yoon-Seok Chang (Division of Allergy and Clinical Immunology, Department of Internal Medicine, Seoul National University Bundang Hospital,
Seoul National University College of Medicine, Korea)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

15:10~15:55 **指定演題3**

座長：山口 正雄（帝京大学ちば総合医療センター第三内科（呼吸器））

岡山 吉道（みさと健和病院内科アレルギー科）

DT3-1 母体の喘息はグルココルチコイドシグナルを介して胎児肺ILC2を変化させ出生後のアレルギー性気道炎症の悪化を引き起こす

高尾 智彬（九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学分野）

DT3-2 閉塞性気道疾患における喀痰中短鎖脂肪酸と細菌叢、炎症、粘液栓との関連

田辺 直也（京都大学呼吸器内科）

DT3-3 ミトコンドリア局在フェロトーシスのOPTN介在マイトファジーへの収束

山田 一宏（大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

16:00~16:50 **イブニングセミナー3**

座長：植木 重治（秋田大学大学院医学系研究科総合診療・検査診断学講座）

ES4 Charcot-Leyden crystals as drivers of severe asthma and ABPA

Bart Lambrecht (Pulmonary Medicine: Ghent University, Ghent, Belgium)

16:50~17:00 閉会式